

主任司祭	在任期間	関係神父(*1) 使徒職関連事項
<p>山口道孝神父</p> 		<ul style="list-style-type: none"> ・主任司祭不在のため、小教区管理者として主日を主体にミサ司式、教会の管理を行われる。 <p>・山口神父様不在の時、主日のミサで司式された神父様:</p>  <p>保久要神父 高野哲夫神父 ルイジ神父 伊藤幸史神父 ロエド神父</p>  <p>ポール・マッカーティー神父</p> <p>↑ 2015年8月</p>
<p>ボブ・ザラテ神父</p> 	<p>2015年7月 ↑ 2012年4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年7月末にフィリピンに帰国された。 <p>在任中信徒に言われたことや行われたこと:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミサに与ることの重要性、相応しい服装でミサに与ること ・聖堂内では静粛にして祈りに集中すること ・教会学校を通して、また親の役目として、子どもたちに信仰をしっかり伝えること ・厚木教会の方向性を定めるため、ビジョンとミッションの作成を提案して、取りまとめられた。 <ul style="list-style-type: none"> ・2014年4月から津久井教会の兼任を解かれ、厚木教会の専任になられた。 ・2012年4月14日に主任司祭として津久井教会と兼任で着任され、第1日曜日、第3日曜日および第5日曜日の主日のミサを司式された。 <p>・第4日曜日の主日の第2ミサを司式された神父様:</p>  <p>北川純二神父 末吉卓也神父 中野裕明神父 雨宮泰紀神父 佐藤直樹神父</p> <p>李聖一神父 萱場基神父 大山悟神父 倉橋輝信神父</p> <p>2015年7月 ↑ 2012年4月</p>
<p>パトリック・ブランチ フィールド神父 (コロバン会)</p> 	<p>2012年4月 ↑ 2008年4月</p>	 <p>古川勉神父(横浜司教区事務局長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2010年6月から2014年2月まで原則第2日曜日のミサを司式された。 ・ミサで朗読された聖書について、み言葉に関わる人々の歴史的・社会的背景、み言葉に隠された真意、そして私たち信徒がみ言葉にどのように対応すべきか、現代的な表現で分かり易く説かれた。 <ul style="list-style-type: none"> ・2009年4月から2012年7月まで原則第4日曜日のミサは、日本カトリック神学院東京キャンパス養成者により司式され、恵み豊かな説教が行われた。

パトリック・
ブランチ
フィールド神父
(コロバン会)

- ・2009年4月から2012年7月まで原則第4日曜日のミサは、日本カトリック神学院東京キャンパス養成者により司式され、恵み豊かな説教が行われた。
- ・ミサを司式された神父様：



末吉卓也神父



伊藤幸史神父



湯浅俊治神父



大山悟神父



白濱満神父



中野裕明神父

松浦信行神父
(撮影逃したため、写真掲載なし)

- 2012年4月
↑
2008年4月
- ・2012年4月8日「復活祭の主日」の司式を最後に、鍛冶ヶ谷教会に転任された。
 - ・在任中は、津久井教会を兼任され、厚木教会では第1日曜日と第3日曜日の主日のミサ司式をされた。

- ・キリスト教講座を開設された。
(* 自分と出会う * キリストに出会う * 共同体との出会い)
- ・子供たちの信仰教育に注力をされた。
- ・コミュニティでの家庭集会を持たれた。
(* 共同体に関心を強め、互いに助け合い、寄り添っていく)
- ・路上生活者に支援を
(* やり方を学び、地域の中を知り、支援を常に念頭に)
- ・教会委員会でも「仕えられるのではなく、仕えるために」を常に宣べられた。
- ・何事もイエス様の目線で処理に当られた。



- 中村吾朗神父
- ・阿部神父様を引き継いで2008年4月～2009年3月まで第4日曜日のミサを司式された
 - ・御言葉を自分の体験を交えて分かりやすく会衆に説かれた。



鵜飼好一神父

- 2008年3月
↑
2002年4月
- ・2008年4月に松本教会に転任された。
 - ・2005年4月から鵜飼神父様は津久井教会を兼任され、第2日曜日と第4日曜日のミサは以下に神父様に依頼された。

- 厚木教会はじめての日本人教区司祭です。
- ・細やかな気遣いの神父さまでした。
特に お年寄りや 弱い立場の方たちに 心配りをされていた。
 - ・司祭の高齢化をも考慮して 2007年 現在の聖堂に改修された。
 - ・厚木教会ホームページの拡充を推進された。



- 朝山宗路神父
- ・上杉神父様を引き継いで2006年4月から2010年5月まで第2日曜日のミサを司式された。
 - ・福音を分かりやすく丁寧に宣べられた。
 - ・ある待降節の黙想会で福音書に記されたマリア様について、詳しく印象に残ることを話された。
 - ・第2週のミサで、成人式のお祝い、初聖体、七五三のお祝いが行われることが多く、記念写真には朝山神父様が多く写られている。



- 阿部慶太郎神父
- ・2005年4月～2008年3月まで第4日曜日のミサ司式対応
 - ・朗読された福音について要点をまとめられて説教された。



		<p>上杉昌弘神父 ・2005年4月～2006年3月まで第2日曜日のミサ司式対応</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・主日の福音を丁寧に分かりやすく説教された。 ・黙想会の講話で上杉神父様は子供時代に受洗され、召命の招きにいたる経緯や神様と関わった体験など感動を与え、印象に残ることを話された。
<p>メーザ・ケン神父 (ミラノ会)</p> 	<p>2002年3月 ↑ 1996年1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・着任早々の説教でポトス(葉の美しいツル性の観葉植物)を持ちだして、「育てる・繋がっている」というお話は今も心に残っている。 ・大きな神父様は常に祭壇から下りて通路を歩きながらの説教は信者と共にある姿でした。また特に子どもや若い人たちに人気絶大でスポーツ大好きな神父様の周りにはいつも若さと楽しさにあふれていた。
<p>ビッフィ・マウリツィオ神父 (ミラノ会)</p> 	<p>1995年12月 ↑ 1990年10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マウリツィオ神父は、北イタリアのミラノの近郊で育ち、司祭叙階とともにミラノ外国宣教会の司祭として日本にこられ、甲府教会の主任司祭から厚木教会の主任司祭として着任されました。 ・着任早々から、急激に増加している信徒に対応するための新しい組織作りに着手し、横浜教区の方針に従い、小教区の運営体制や設備の改善を積極的に行なわれた。 ・建設委員会を組織し、手狭になった信徒司祭館の改築、聖堂設備の改修を行ない1000人規模の教会共同体にふさわしい環境が整えられた。
<p>ロレンツォ・マネルバ神父 (ミラノ会)</p> 	<p>1990年9月 ↑ 1980年9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在任中に信徒の転入が多く信徒数が約500人増加した。この時期は、転入が多く、またベトナム難民の受入れや外国人の信徒も多くなっていった。 ・マネルバ神父は、ライアン神父(アウグスチノ会)を引き継ぎ、家庭的雰囲気大切にされた。また、ライアン神父がスタートしたコミュニティ活動、教会ニュースを継続された。マネルバ神父は、陽気で歌の好きな、サッカー好きの典型的なイタリア人で皆を楽しませた。 ・教会については、教皇来日、福音宣教推進全国会議関係の集いなど沢山の活動があったが、信徒の自主性を尊重される運営をなされた。また、貧しい人達に寛大で、ホームレスに個人的に援助をしていたこともあった。
<p>ライアン神父 (アウグスチノ会)</p> 	<p>1980年8月 ↑ 1970年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック厚木教会創立者のライアン神父は、1961年(昭和36年)に厚木市内のある信者宅で信者3名で初ミサを捧げた。ミサは他の信者宅でも定期的に捧げられ、1969年1月から中町会館で毎月1回捧げられるようになった。 ・その後教会建設を目指して土地の選定や資金調達のために厚木基地でのミサや東海大学の英語講師、各種講座の講師などで得た謝礼総てを献金された。また資金調達のため、再三アメリカに帰国されて、アメリカの信者や神父様のお母様・姉妹から献金を頂き、そしてライアン神父の留守中お手伝いくださったバーク神父のご家族からも沢山の献金を頂いた。バーク神父の働きも大きかった。 ・何も無いところから、土地の選定・購入、建設費用の捻出などにご苦労されたが、持ち前の明るさと温かさ、神への深い愛と会の創立者アウグスチノへの敬愛で教会建設は遂行された。(1968年(昭和43年)に厚木市旭町に土地300坪購入、1970年(昭和45年)聖堂が創建。) ・1970年3月14日、ライアン神父はカトリック厚木教会主任司祭として赴任された。(同年3月15日初ミサ、カトリック厚木教会発足。同年3月21日献堂式) ・新教会スタートのため、近隣教会へ厚木在住の信徒の移籍をお願いに歩かれた。無からの教会設立に向けて、信徒の養成、青年会、婦人会、土曜学校、障がい者などへの宣教布教や活動に励まれ、特に地域の信者同志の連絡を深めるためコミュニティづくりに努められた。 ・1961年(昭和36年)当時、厚木市は将来発展するであろうと予測し、教会設立の場所に選定されたライアン神父の深い神に対する愛をここに留めましょう。

